

対象校No.
注4

学校コード F101310100383
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 大学の設置
注1

認可

注2
北海道武蔵女子大学

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人北海道武蔵女子学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 法人総務課

職名・氏名 カチョウ キヌカワ ヒデトシ
課長・絹川 英敏

電話番号 011-726-3141 (内線: 711)

(夜間) 090-2813-8252

e-mail kinukawa@hmu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

経営学部

＜経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人北海道武蔵女子学園

(2) 大 学 名

北海道武蔵女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒001-0022

北海道札幌市北区北22条西13丁目

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(シノダ ヤスノブ) 篠田 泰伸 (平成25年3月29日)	—	
学 長	(マチノ カズオ) 町野 和夫 (令和6年4月1日)	—	
学 部 長	(キチジ ノゾミ) 吉地 望 (令和6年4月1日)	—	
学科長等	(キチジ ノゾミ) 吉地 望 (令和6年4月1日)	(ミヤモト チカコ) 宮本 知加子 (令和7年4月1日)	学部長と学科長の業務分掌を令和7年4月1日より分担して履行(7)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してくた

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの5年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が6年を越え、様式に変更が必要な場合には、これらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科の 分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停止 について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 経営学科 学士（経営学）	経済学関係	4 年	80 人	2年次 0 人 3年次 5 人 4年次 0 人	330 人	—	—

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	80 () []	人 () []	80 () []	人 () []	—	0.96倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	191 []	() []	169 []	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	191 []	() []	166 []	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	138 []	() []	137 []	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	82 []	() []	73 []	() []				
入学定員超過率 B/A	—		—						1.02		0.91					

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	82 [－] (－)	－ [－] (－)	73 [－] (－)	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	82 [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)				－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	82 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
令和7年度	155 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{155} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 経営学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
			修	択	由	授	授	師	教	手	
共 通 教 養 教 育 科 目	初年次ゼミナールⅠ	1前	1			3	2	2	2		
	初年次ゼミナールⅡ	1後	1			3	2	2	2		
	論理的思考と文章表現	1前	1								2
	プレゼンテーション技法	1後	1								1
	数学入門	1前	2				1				
	韓国語入門Ⅰ	1・2前		2							1
	韓国語入門Ⅱ	1・2後		2							1
	中国語入門Ⅰ	1・2前		2							1
	中国語入門Ⅱ	1・2後		2							1
	哲学入門	1・2後		2							1
	歴史学入門	1・2後		2							1
	文学入門	1・2後		2							1
	社会学入門 (フィールドワーク入門)	1・2前		2				1			
	政治学入門	2・3後		2							1
	教育学入門	1・2前		2				1			
	環境学	2・3後		2							1
	映像と文化	2・3後		2							1
	芸術と文化	2・3後		2							1
	スポーツ	2・3後		1							1
	小計(19科目)	—	6	27	0	6	5	6	4	0	15
	武蔵のキャリア教育	1前	2					1			
	インターンシップ	3前・後		1			1				
	ジェンダーとキャリアⅠ	3・4前		2					1		
	ジェンダーとキャリアⅡ	3・4後		1				1			
	キャリアデザイン	3後	2								1
	小計(5科目)	—	4	4	0	0	1	2	1	0	1
	情報基礎	1前	1				1				
	データサイエンス・AI入門	1前	2				1				
	データサイエンス基礎	1後	2				1				
	データエンジニアリング基礎	1後	2				1				
	オフィスツール応用	2・3前		2							1
	ITパスポート演習	2・3後		2							1
	小計(6科目)	—	7	4	0	0	4	0	0	0	2
	総合英語Ⅰ	1前	2				1				2
	総合英語Ⅱ	1後	2				1				2
	ビジネス英語Ⅰ	2前	2				1				2
	ビジネス英語Ⅱ	2後	2				1				2
	International business for women in English	2・3後		2			1				
	メディアの英語	3・4前		2			1				
	英語プレゼンテーション	3・4後		2							1
	English Exam A(英検)	1・2前		2							1
	English Exam B(TOEIC)	1・2後		2							1
	ビジネス英語海外演習A	2・3後		2			1				
	ビジネス英語海外演習B	2前・後 3前・後		2			1				
	小計(11科目)	—	8	14	0	0	8	0	0	0	11

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
			修	択	由	授	授	師	教	手	
共 通 教 養 教 育 科 目	初年次ゼミナールⅠ	1前	1			2	2	2	2		
	初年次ゼミナールⅡ	1後	1			2	2	2	2		
	論理的思考と文章表現	1前	1								2
	プレゼンテーション技法	1後	1								1
	数学入門	1前	2				1				
	韓国語入門Ⅰ	1・2前		2							1
	韓国語入門Ⅱ	1・2後		2							1
	中国語入門Ⅰ	1・2前		2							1
	中国語入門Ⅱ	1・2後		2							1
	哲学入門	1・2後		2							1
	歴史学入門	1・2後		2							1
	文学入門	1・2後		2							1
	社会学入門 (フィールドワーク入門)	1・2前		2				1			
	政治学入門	2・3後		2							1
	教育学入門	1・2前		2				1			
	環境学	2・3後		2							1
	映像と文化	2・3後		2							1
	芸術と文化	2・3後		2							1
	スポーツ(未開講)	2・3前	1								1
	小計(19科目)	—	6	27	0	4	5	6	4	0	15
	武蔵のキャリア教育	1前	2				2		1		
	インターンシップ	3前・後		1			1				
	ジェンダーとキャリアⅠ	3・4前		2					1		
	ジェンダーとキャリアⅡ	3・4後		1				1			
	キャリアデザイン	3前	2								1
	小計(5科目)	—	4	4	0	0	3	1	2	0	1
	情報基礎	1前	1				1				
	データサイエンス・AI入門	1前	2				1				
	データサイエンス基礎	1後	2				1				
	データエンジニアリング基礎	1後	2				1				
	オフィスツール応用	2・3前		2							1
	ITパスポート演習	2・3後		2							1
	小計(6科目)	—	7	4	0	0	4	0	0	0	2
	総合英語Ⅰ	1前	2				1				2
	総合英語Ⅱ	1後	2				1				2
	ビジネス英語Ⅰ	2前	2				1				2
	ビジネス英語Ⅱ	2後	2				1				2
	International business for women in English	2・3後		2			1				
	メディアの英語	3・4前		2			1				
	英語プレゼンテーション	3・4後		2							1
	English Exam A(英検)	1・2前		2							1
	English Exam B(TOEIC)	1・2後		2							1
	ビジネス英語海外演習A	2・3後		2			1				
	ビジネス英語海外演習B	2前・後 3前・後		2			1				
	小計(11科目)	—	8	14	0	0	8	0	0	0	11

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共 通 教 養 教 育 科 目	初年次ゼミナールⅠ	1前	1			3	2	2	2		
	初年次ゼミナールⅡ	1後	1			3	2	2	2		
	論理的思考と文章表現	1前	1								2
	プレゼンテーション技法	1後	1								1
	数学入門	1前	2				1				
	韓国語入門Ⅰ	1・2前		2							1
	韓国語入門Ⅱ	1・2後		2							1
	中国語入門Ⅰ	1・2前		2							1
	中国語入門Ⅱ	1・2後		2							1
	哲学入門	1・2後		2							1
	歴史学入門	1・2後		2							1
	文学入門	1・2後		2							1
	社会学入門 (フィールドワーク入門)	1・2前		2				1			
	政治学入門	2・3後		2							1
	教育学入門	1・2前		2				1			
	環境学	2・3後		2							1
	映像と文化	2・3後		2							1
	芸術と文化	2・3後		2							1
	スポーツ	2・3後		1							1
	小計(19科目)	—	6	27	0	6	5	6	4	0	15
	キャリア教育	1前	2					1			
	インターンシップ	3前・後		1			1				
	ジェンダーとキャリアⅠ	3・4前		2					1		
	ジェンダーとキャリアⅡ	3・4後		1				1			
	キャリアデザイン	3後	2								1
	小計(5科目)	—	4	4	0	0	1	2	1	0	1
	情報基礎	1前	1				1				
	データサイエンス・AI入門	1前	2				1				
	データサイエンス基礎	1後	2				1				
	データエンジニアリング基礎	1後	2				1				
	オフィスツール応用	2・3前		2							1
	ITパスポート演習	2・3後		2							1
	小計(6科目)	—	7	4	0	0	4	0	0	0	2
	総合英語Ⅰ	1前	2				1				1
	総合英語Ⅱ	1後	2				1				1
	ビジネス英語Ⅰ	2前	2				1				2
	ビジネス英語Ⅱ	2後	2				1				2
	International business for women in English	2・3後		2			1				
	メディアの英語	3・4前		2			1				
	英語プレゼンテーション	3・4後		2							1
	English Exam A(英検)	1・2前		2							1
	English Exam B(TOEIC)	1・2後		2							1
	ビジネス英語海外演習A	2・3後		2			1				
	ビジネス英語海外演習B	2前・後 3前・後		2			1				
	小計(11科目)	—	8	14	0	0	8	0	0	0	9

2 授業科目の概要

<経営学部 経営学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 教 育 科 目	経営学基礎	1前	2			1					
	マーケティング基礎	1前	2			1					
	経済学基礎	1後	2			1					
	会計学基礎	1後	2			1					
	法学基礎	2前	2			1					
	デザイン基礎	1前	2			1					
	小計(6科目)	—	12	0	0	6	0	0	0	0	—
	経営組織論Ⅰ	1後	2			1					
	経営戦略論Ⅰ	1後	2			1					
	デジタルマーケティング	2前	2			1					
	企業論	2前	2			1					
	消費者行動論	2前	2			1					
	DX論	2後	2			1					
	心理学	1後	2			1					
	ビジネス心理	2前	2			1					
	マクロ経済学Ⅰ	2前	2			1					
	ミクロ経済学Ⅰ	2前	2			1					
	行動経済学	2・3後	2			1					
	流通論	2・3後	2			1					
	サービス産業論	3・4前	2			1					
	観光学	3・4後	2			1					
	ビジネスデータサイエンス演習	2前	2								1
	簿記Ⅰ	1・2前	2								1
	財務会計	2前	2			1					
	民法	2・3後	2			1					
	小計(18科目)	—	24	12	0	11	5	0	0	0	2
	リーダーシップ開発演習Ⅰ	1前	2			1					
	リーダーシップ開発演習Ⅱ	1後	2			1					
	リーダーシップ応用演習	2前	2			1					
	プレゼミナール	2後	2			8	5	2	2		
	ファシリテーション入門	3・4前	2			1					
	小計(5科目)	—	8	2	0	9	8	2	2	0	0

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 教 育 科 目	経営学基礎	1前	2			1					
	マーケティング基礎	1前	2			1					
	経済学基礎	1後	2			1					
	会計学基礎	1後	2			1					
	法学基礎	2前	2			1					
	デザイン基礎	1前	2			1					
	小計(6科目)	—	12	0	0	6	0	0	0	0	—
	経営組織論Ⅰ	1後	2			1					
	経営戦略論Ⅰ	1後	2			1					
	デジタルマーケティング	2前	2			1					
	企業論	2前	2			1					
	消費者行動論	2前	2			1					
	DX論	2後	2			1					
	心理学	1後	2			1					
	ビジネス心理	2前	2			1					
	マクロ経済学Ⅰ	2前	2			1					
	ミクロ経済学Ⅰ	2前	2			1					
	行動経済学	2・3後	2			1					
	流通論	2・3後	2			1					
	サービス産業論	3・4前	2			1					
	観光学	3・4後	2			1					
	ビジネスデータサイエンス演習	2前	2								1
	簿記Ⅰ	1・2前	2			1					
	財務会計	2前	2			1					
	民法	2・3後	2			1					
	小計(18科目)	—	24	12	0	11	6	0	0	0	1
	リーダーシップ開発演習Ⅰ	1前	2			1					
	リーダーシップ開発演習Ⅱ	1後	2			1					
	リーダーシップ応用演習	2前	2			1					
	プレゼミナール	2後	2			8	5	2	2		
	ファシリテーション入門	3・4前	2			1					
	小計(5科目)	—	8	2	0	9	8	2	2	0	0

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 教 育 科 目	経営学基礎	1前	2			1					
	マーケティング基礎	1前	2			1					
	経済学基礎	1後	2			1					
	会計学基礎	1後	2			1					
	法学基礎	2前	2			1					
	デザイン基礎	1前	2			1					
	小計(6科目)	—	12	0	0	6	0	0	0	0	—
	経営組織論Ⅰ	1後	2				1				
	経営戦略論Ⅰ	1後	2			1					
	デジタルマーケティング	2前	2			1					
	企業論	2前	2			1					
	消費者行動論	2前	2				1				
	DX論	2後	2			1					
	心理学	1後	2				1				
	ビジネス心理	2前	2				1				
	マクロ経済学Ⅰ	2前	2			1					
	ミクロ経済学Ⅰ	2前	2			1					
	行動経済学	2・3後		2		1					
	流通論	2・3後		2			1				
	サービス産業論	3・4前		2		1					
	観光学	3・4後		2		1					
	ビジネスデータサイエンス演習	2前	2								1
	簿記Ⅰ	1・2前		2			1				
	財務会計	2前	2			1					
	民法	2・3後		2		1					
	小計(18科目)	—	24	12	0	11	6	0	0	0	1
	リーダーシップ開発演習Ⅰ	1前	2				1				
	リーダーシップ開発演習Ⅱ	1後	2			1					
	リーダーシップ応用演習	2前	2				1				
	プレゼミナール	2後	2			8	5	2	2		
	ファシリテーション入門	3・4前		2			1				
	小計(5科目)	—	8	2	0	9	8	2	2	0	0

2 授業科目の概要

<経営学部 経営学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	専門 発展 科目	経営組織論Ⅱ	2・3前		2								1
		経営戦略論Ⅱ	2・3後		2								1
		マーケティング・ コミュニケーション	2・3後		2			1					
		人的資源管理論	2・3後		2						1		
		教育経営論	2・3後		2					1			
		経営倫理	3・4前		2			1					
		経営史	3・4前		2					1			
		グローバル経営論	3・4前		2			1					
		ベンチャービジネス論	3・4前		2			1					
		コミュニティビジネス論	3・4後		2			1					
		コーポレートガバナンス論	3・4後		2								1
		社会心理学	2・3後		2							1	
		心理学研究法	3・4前		2							1	
		デザイン論	2・3前		2			1					
		データサイエンス・AI応用	2・3後		2				1				
		ウェブデザイン演習	2・3後		2								1
		デザイン表現演習	3・4前		2			1					
		マクロ経済学Ⅱ	3・4前		2			1					
		ミクロ経済学Ⅱ	3・4前		2			1					
		財政学	3・4後		2								1
		国際経済学	3・4後		2								1
		金融論	3・4後		2								1
		簿記Ⅱ	1・2後		2								1
		財務分析	2・3後		2			1					
		管理会計	3・4前		2								1
		取引法・消費者法	3・4前		2			1					
		3年専門ゼミナール	3通	4				8	5	2	2		
		4年専門ゼミナール (卒業論文含む)	4通	8				8	5	2	2		
		小計(28科目)		—	12	52	0	25	13	6	7	0	9
合計(98科目)			—	81	115	0	57	44	16	14	0	40	
卒業要件及び履修方法													
必修科目81単位、共通教養教育科目の基礎教養・コアの選択科目(スポーツを除く)から10単位、専門発展科目の選択科目から24単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間)) なお、専門教育科目の専門基幹科目のうち6科目(サービス産業論、観光学、流通論、行動経済学、簿記Ⅰ、民法)から6単位を選択必修とする。													

【令和7年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 教 育 科 目	専 門 発 展 科 目	経営組織論Ⅱ	2・3前		2								1
		経営戦略論Ⅱ	2・3後		2								1
		マーケティング・ コミュニケーション	2・3後		2				1				
		人的資源管理論	2・3後		2						1		
		教育経営論	2・3後		2					1			
		経営倫理	3・4前		2				1				
		経営史	3・4前		2					1			
		グローバル経営論	3・4前		2			1					
		ベンチャービジネス論	3・4前		2			1					
		コミュニティビジネス論	3・4後		2			1					
		コーポレートガバナンス論	3・4後		2								1
		社会心理学	2・3後		2							1	
		心理学研究法	3・4前		2							1	
		デザイン論	2・3前		2			1					
		データサイエンス・AI応用	2・3後		2				1				
		ウェブデザイン演習	2・3後		2								1
		デザイン表現演習	3・4前		2			1					
		マクロ経済学Ⅱ	3・4前		2			1					
		ミクロ経済学Ⅱ	3・4前		2			1					
		財政学	3・4後		2								1
		国際経済学	3・4後		2								1
		金融論	3・4後		2								1
		簿記Ⅱ	1・2後							1			
		財務分析	2・3後		2			1					
		管理会計	3・4前		2								1
		取引法・消費者法	3・4前		2			1					
		3年専門ゼミナール	3通	4				8	5	2	2		
		4年専門ゼミナール (卒業論文含む)	4通	8				8	5	2	2		
小計(28科目)		—	12	52	0	25	14	6	7	0	8		
合計(98科目)			—	81	115	0	57	46	16	14	0	36	
卒業要件及び履修方法													
必修科目81単位、共通教養教育科目の基礎教養・コアの選択科目(スポーツを除く)から10単位、専門発展科目の選択科目から24単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間)) なお、専門教育科目の専門基幹科目のうち6科目(サービス産業論、観光学、流通論、行動経済学、簿記Ⅰ、民法)から6単位を選択必修とする。													

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 教 育 科 目	専 門 展 開 科 目	経営組織論Ⅱ	2・3前		2								1
		経営戦略論Ⅱ	2・3後		2								1
		マーケティング・ コミュニケーション	2・3後		2			1					
		人的資源管理論	2・3後		2						1		
		教育経営論	2・3後		2				1				
		経営倫理	3・4前		2			1					
		経営史	3・4前		2				1				
		グローバル経営論	3・4前		2		1						
		ベンチャービジネス論	3・4前		2		1						
		コミュニティビジネス論	3・4後		2		1						
		コーポレートガバナンス論	3・4後		2								1
		社会心理学	2・3後		2						1		
		心理学研究法	3・4前		2						1		
		デザイン論	2・3前		2		1						
		データサイエンス・AI応用	2・3後		2			1					
		ウェブデザイン演習	2・3後		2								1
		デザイン表現演習	3・4前		2		1						
		マクロ経済学Ⅱ	3・4前		2		1						
		ミクロ経済学Ⅱ	3・4前		2		1						
		財政学	3・4後		2								1
		国際経済学	3・4後		2								1
		金融論	3・4後		2								1
		簿記Ⅱ	1・2後		2			1					
		財務分析	2・3後		2		1						
		管理会計	3・4前		2								1
		取引法・消費者法	3・4前		2		1						
		3年専門ゼミナール	3通	4			8	5	2	2			
		4年専門ゼミナール (卒業論文含む)	4通	8			8	5	2	2			
		小計(28科目)		—	12	52	0	25	14	6	7	0	8
合計(98科目)			—	81	115	0	57	46	16	14	0	38	
卒業要件及び履修方法													
必修科目81単位、共通教養教育科目の基礎教養・コアの選択科目(スポーツを除く)から10単位、専門発展科目の選択科目から24単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間)) なお、専門教育科目の専門基幹科目のうち6科目(サービス産業論、観光学、流通論、行動経済学、簿記Ⅰ、民法)から6単位を選択必修とする。													

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・本務校（同一法人内の短期大学）の担当科目割当増のため兼担教員1名が就任を辞退した理由により、「総合英語Ⅰ」の「兼任・兼担教員2」を「兼任・兼担教員1」に変更。
- ・本務校（同一法人内の短期大学）の担当科目割当増のため兼担教員1名が就任を辞退した理由により、「総合英語Ⅱ」の「兼任・兼担教員2」を「兼任・兼担教員1」に変更。
- ・本務校（同一法人内の短期大学）の担当科目割当増のため兼担教員1名が就任を辞退した理由により、「簿記Ⅰ」の「兼担教員1」を「准教授1」に変更。
- ・本務校（同一法人内の短期大学）の担当科目割当増のため兼担教員1名が就任を辞退した理由により、「簿記Ⅱ」の「兼担教員1」を「准教授1」に変更。

【令和7年度】

- ・教育の質を保証できる範囲で授業及び学生指導負担の軽減を考慮し「初年次ゼミナールⅠ」及び「初年次ゼミナールⅡ」の担当教授1名について担当から除外。
- ・「武蔵のキャリア教育」の担当教員の健康上の理由及び教育効果向上を考え、担当教員交代と担当教員の2名増員を図る（AC教員審査済）。
- ・履修者を増やす目的で「スポーツ」の授業の開講時期を2年次・3年次後期から2年次・3年次前期に変更。
- ・課外の指導も含めた効果的なキャリア支援を行っていく理由から、「キャリアデザイン」の開講時期を3年次後期から3年次前期に変更。
- ・前年度に就任を辞退した兼担教員が就任可能となった理由により、「総合英語Ⅰ」及び「総合英語Ⅱ」の担当を「兼任・兼担教員1」から「兼任・兼任教員2」に変更。

- (注)・ 2 (1) ④ 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
39 科目	59 科目	0 科目	98 科目	39 科目 [0]	59 科目 [0]	0 科目 [0]	98 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{98} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			北海道武蔵女子短期大学と共用
	校 舎 敷 地	0㎡	18,979.70㎡	0㎡	18,979.70㎡			
	運動場用地	0㎡	6,712.61㎡	0㎡	6,712.61㎡			
	小 計	0㎡	25,692.31㎡	0㎡	25,692.31㎡			
	そ の 他	0㎡	26,014.44㎡	0㎡	26,014.44㎡			
	合 計	0㎡	51,706.75㎡	0㎡	51,706.75㎡			
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			北海道武蔵女子短期大学と共用
		0㎡ (0㎡)	14,792.85㎡ (14,792.85㎡)	0㎡ (0㎡)	14,792.85㎡ (14,792.85㎡)			
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体
		46室 17	13室	1室	2室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)		
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		経営学部 経営学科			18 室			
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定が 不可能なため大学 全体の数
		経営学部	188,876 [19,090] (184,008 [18,353])	250 [45] (252 [45])	1 [0] (2 [1])	4,969 -4,636	0 (0)	
	計	188,876 [19,090] (184,008 [18,353])	250 [45] (252 [45])	1 [0] (2 [1])	4,969 -4,636	0 (0)	0 (0)	
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体
		1,535.37㎡		119席		154,000冊		
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		2,086.89㎡		テ ニ ス コ ー ト 2 面		ゴ ル フ 練 習 場		
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	2,810千円	4,000千円	4,000千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	31,000千円	14,000千円	5,000千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,180千円	1,025千円	1,025千円	1,025千円	— 千円	— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		経常費補助金、雑収入、受取利息、配当金等					

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。

（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
- ・なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	北海道武蔵女子大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	—	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	—
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考			
経営学部	4	80	3年次 5	330	—	0.96	—	—	令和6	北海道札幌市北区 北22条西13丁目				
経営学科	4	80	3年次 5	330	学士 (経営学)	0.96	—	—	令和6					
大学全体	4	80	3年次 5	330	—	—	—	—	—	—				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度 A C の対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
- 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜経営学部 経営学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授 (学長)	町野 和夫 (66) ＜令和6年4月＞ Ph. D. in Economics	専	教授 (学長)	町野 和夫 (66) ＜令和6年4月＞ Ph. D. in Economics	専	教授 (学長)	町野 和夫 (67) ＜令和6年4月＞ Ph. D. in Economics
		ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ			ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ			ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ
専	教授	池田 清治 (65) ＜令和9年4月＞ 法学博士	専	教授	池田 清治 (62) ＜令和9年4月＞ 法学博士	専	教授	池田 清治 (63) ＜令和9年4月＞ 法学博士
		法学基礎 取引法・消費者法 民法 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール			法学基礎 取引法・消費者法 民法 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール			法学基礎 取引法・消費者法 民法 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任	講師	池田 清治 (63) ＜令和7年4月＞ 法学博士	兼任	講師	池田 清治 (62) ＜令和7年4月＞ 法学博士	兼任	講師	池田 清治 (63) ＜令和7年4月＞ 法学博士
		法学基礎 取引法・消費者法 民法 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール			法学基礎 取引法・消費者法 民法 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール			法学基礎 取引法・消費者法 民法 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール
専	教授	井原 久光 (71) ＜令和6年4月＞ 博士（総合政策）	専	教授	井原 久光 (71) ＜令和6年4月＞ 博士（総合政策）	専	教授	井原 久光 (72) ＜令和6年4月＞ 博士（総合政策）
		経営戦略論Ⅰ 企業論 グローバル経営論 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール			経営戦略論Ⅰ 企業論 グローバル経営論 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール			経営戦略論Ⅰ 企業論 グローバル経営論 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	教授	大平 義隆 (68) ＜令和7年4月＞ 商学修士※	専	教授	大平 義隆 (67) ＜令和7年4月＞ 商学修士※	専	教授	大平 義隆 (68) ＜令和7年4月＞ 商学修士※
		経営学基礎 コミュニティビジネス論 ベンチャービジネス論 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール			経営学基礎 コミュニティビジネス論 ベンチャービジネス論 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール			経営学基礎 コミュニティビジネス論 ベンチャービジネス論 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任	講師	大平 義隆 (67) ＜令和6年4月＞ 商学修士※	兼任	講師	大平 義隆 (67) ＜令和6年4月＞ 商学修士※			
		経営学基礎			経営学基礎			
専	教授 (学部長)	吉地 望 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	専	教授 (学部長)	吉地 望 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	専	教授 (学部長)	吉地 望 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		経済学基礎 行動経済学 マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール			経済学基礎 行動経済学 マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール			経済学基礎 行動経済学 マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専	教授	近藤 公彦 (63) ＜令和7年4月＞ 商学修士※	専	教授	近藤 公彦 (62) ＜令和7年4月＞ 商学修士※	専	教授	近藤 公彦 (63) ＜令和7年4月＞ 商学修士※
		マーケティング基礎 デジタルマーケティング DX論 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール			マーケティング基礎 デジタルマーケティング DX論 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール			マーケティング基礎 デジタルマーケティング DX論 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任	講師	近藤 公彦 (62) ＜令和6年4月＞ 商学修士※	兼任	講師	近藤 公彦 (62) ＜令和6年4月＞ 商学修士※			
		マーケティング基礎			マーケティング基礎			
専	教授	佐藤 郁夫 (68) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	専	教授	佐藤 郁夫 (68) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	専	教授	佐藤 郁夫 (69) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		サービス産業論 観光学 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール			サービス産業論 観光学 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール			サービス産業論 観光学 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール

(1) 一① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		米山 祐司 (67) ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）
		会計学基礎 財務会計 財務分析 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 教授		若林 尚樹 (65) ＜令和6年4月＞ 博士（感性科学）
		デザイン基礎 デザイン論 リーダーシップ開発演習Ⅱ デザイン表現演習 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 准教授		板谷 初子 (61) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ ビジネス英語海外研修A ビジネス英語海外研修B International business for women in English メディアの英語 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 准教授		伊藤 祥子 (49) ＜令和6年4月＞ 博士（商学）
		消費者行動論 流通論 マーケティング・ コミュニケーション 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 准教授		畦原 宗之 (47) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		数学入門 データサイエンス・AI入門 データサイエンス基礎 データエンジニアリング基礎 データサイエンス・AI応用 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 准教授		宮本（馬場崎）知加子 (44) ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		心理学 ビジネス心理 リーダーシップ開発演習Ⅰ ファシリテーション入門 インターンシップ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 准教授		渡邊 泰宏 (44) ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）※
		経営総論Ⅰ 経営倫理 リーダーシップ応用演習 情報基礎 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 講師		明田川（辻村）知美 (46) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		武蔵のキャリア教育 教育経営論 教育学入門 ジェンダーとキャリアⅡ 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 講師		木下 なつき (47) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		経営史 社会学入門（フィールドワーク入門） 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		米山 祐司 (67) ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）
		会計学基礎 財務会計 財務分析 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 教授		若林 尚樹 (65) ＜令和6年4月＞ 博士（感性科学）
		デザイン基礎 デザイン論 リーダーシップ開発演習Ⅱ デザイン表現演習 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 准教授		板谷 初子 (61) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ ビジネス英語海外研修A ビジネス英語海外研修B International business for women in English メディアの英語 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 准教授		伊藤 祥子 (49) ＜令和6年4月＞ 博士（商学）
		消費者行動論 流通論 マーケティング・ コミュニケーション 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール 簿記Ⅰ 簿記Ⅱ
専 准教授		畦原 宗之 (47) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		数学入門 データサイエンス・AI入門 データサイエンス基礎 データエンジニアリング基礎 データサイエンス・AI応用 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 准教授		宮本（馬場崎）知加子 (44) ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		心理学 ビジネス心理 リーダーシップ開発演習Ⅰ ファシリテーション入門 インターンシップ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 准教授		渡邊 泰宏 (44) ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）※
		経営総論Ⅰ 経営倫理 リーダーシップ応用演習 情報基礎 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 講師		明田川（辻村）知美 (46) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		武蔵のキャリア教育 教育経営論 教育学入門 ジェンダーとキャリアⅡ 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 講師		木下 なつき (47) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		経営史 社会学入門（フィールドワーク入門） 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		米山 祐司 (68) ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）
		会計学基礎 財務会計 財務分析 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 教授		若林 尚樹 (66) ＜令和6年4月＞ 博士（感性科学）
		デザイン基礎 デザイン論 リーダーシップ開発演習Ⅱ デザイン表現演習 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 准教授		板谷 初子 (62) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ ビジネス英語海外研修A ビジネス英語海外研修B International business for women in English メディアの英語 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 准教授		伊藤 祥子 (50) ＜令和6年4月＞ 博士（商学）
		消費者行動論 流通論 マーケティング・ コミュニケーション 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール 簿記Ⅰ 簿記Ⅱ 武蔵のキャリア教育
専 准教授		畦原 宗之 (48) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		数学入門 データサイエンス・AI入門 データサイエンス基礎 データエンジニアリング基礎 データサイエンス・AI応用 プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 准教授		宮本（馬場崎）知加子 (45) ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		心理学 ビジネス心理 リーダーシップ開発演習Ⅰ ファシリテーション入門 インターンシップ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール 武蔵のキャリア教育
専 准教授		渡邊 泰宏 (45) ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）※
		経営総論Ⅰ 経営倫理 リーダーシップ応用演習 情報基礎 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 講師		明田川（辻村）知美 (47) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		教育経営論 教育学入門 ジェンダーとキャリアⅡ 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 講師		木下 なつき (48) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		経営史 社会学入門（フィールドワーク入門） 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		Galsanjigmed Enkhzul (33) ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		人的資源管理論 ジェンダーとキャリアⅠ 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 助教		館石 和香葉 (30) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		社会心理学 心理学研究法 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任 講師		鈴木 健太 (49) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		哲学入門
兼任 教授		高橋 秀幸 (56) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		簿記Ⅰ 簿記Ⅱ
兼任 教授		村上 佳寿子 (67) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ
兼任 准教授		多田 久美子 (65) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		論理的思考と文章表現 文学入門
兼任 准教授		宮下 裕加 (61) ＜令和7年4月＞ 修士（生涯スポーツ学）
		スポーツ
兼任 講師		高島 康 (34) ＜令和6年4月＞ 修士（日本史学）
		歴史学入門
兼任 講師		忽滑谷 夢鶴舞 (65) ＜令和7年4月＞ 経済学士
		オフィスツール応用
兼任 講師		奴久妻 駿介 (36) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任 講師		網野 真佐子 (65) ＜令和6年4月＞ 修士（国際広報メディア）
		ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ 英語プレゼンテーション English Exam B (TOEIC)

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		Galsanjigmed Enkhzul (33) ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		人的資源管理論 ジェンダーとキャリアⅠ 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
専 助教		館石 和香葉 (30) ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		社会心理学 心理学研究法 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任 教授		村上 佳寿子 (66) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ
兼任 准教授		多田 久美子 (65) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		論理的思考と文章表現 文学入門
兼任 准教授		宮下 裕加 (60) ＜令和7年4月＞ 修士（生涯スポーツ学）
		スポーツ
兼任 講師		高島 康 (34) ＜令和6年4月＞ 修士（日本史学）
		歴史学入門
兼任 講師		忽滑谷 夢鶴舞 (65) ＜令和7年4月＞ 経済学士
		オフィスツール応用
兼任 講師		網野 真佐子 (65) ＜令和6年4月＞ 修士（国際広報メディア）
		ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ 英語プレゼンテーション English Exam B (TOEIC)

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		Galsanjigmed Enkhzul (34) ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		人的資源管理論 ジェンダーとキャリアⅠ 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール 武蔵のキャリア教育
専 助教		館石 和香葉 (31) ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		社会心理学 心理学研究法 初年次ゼミナールⅠ 初年次ゼミナールⅡ プレゼミナール ※ 3年専門ゼミナール 4年専門ゼミナール
兼任 教授		村上 佳寿子 (67) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ
兼任 准教授		多田 久美子 (66) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		論理的思考と文章表現 文学入門
兼任 准教授		宮下 裕加 (61) ＜令和7年4月＞ 修士（生涯スポーツ学）
		スポーツ
兼任 講師		高島 康 (35) ＜令和6年4月＞ 修士（日本史学）
		歴史学入門
兼任 講師		忽滑谷 夢鶴舞 (66) ＜令和7年4月＞ 経済学士
		オフィスツール応用
兼任 講師		奴久妻 駿介 (37) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）※
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任 講師		網野 真佐子 (66) ＜令和6年4月＞ 修士（国際広報メディア）
		英語プレゼンテーション English Exam B (TOEIC)

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	飯田 治 (68) ＜令和8年4月＞ 学士（商学）
		金融論
兼任	講師	上原 賢司 (43) ＜令和6年4月＞ 博士（政治学）
		政治学入門
兼任	講師	横戸 智司 (61) ＜令和6年4月＞ 学士（文学）
		論理的思考と文章表現
兼任	講師	呉 明照 (51) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		韓国語入門Ⅰ 韓国語入門Ⅱ
兼任	講師	春日部 光紀 (54) ＜令和8年4月＞ 博士（経営学）
		管理会計
兼任	講師	堅田 諒 (33) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		映像と文化
兼任	講師	木田 世界 (33) ＜令和8年4月＞ 博士（経営学）
		コーポレートガバナンス論
兼任	講師	熊谷 由美子 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	呉 秀娟 (44) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		中国語入門Ⅰ 中国語入門Ⅱ
兼任	講師	鈴木 卓真 (48) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		プレゼンテーション技法
兼任	講師	高橋 朋代 (49) ＜令和7年4月＞ 博士（建設システム工学）
		ウェブデザイン演習

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	飯田 治 (66) ＜令和8年4月＞ 学士（商学）
		金融論
兼任	講師	上原 賢司 (43) ＜令和7年4月＞ 博士（政治学）
		政治学入門
兼任	講師	横戸 智司 (61) ＜令和6年4月＞ 学士（文学）
		論理的思考と文章表現
兼任	講師	呉 明照 (51) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		韓国語入門Ⅰ 韓国語入門Ⅱ
兼任	講師	春日部 光紀 (52) ＜令和8年4月＞ 博士（経営学）
		管理会計
兼任	講師	堅田 諒 (32) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		映像と文化
兼任	講師	木田 世界 (31) ＜令和8年4月＞ 博士（経営学）
		コーポレートガバナンス論
兼任	講師	熊谷 由美子 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	呉 秀娟 (44) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		中国語入門Ⅰ 中国語入門Ⅱ
兼任	講師	鈴木 卓真 (48) ＜令和8年4月＞ 博士（工学）
		プレゼンテーション技法
兼任	講師	高橋 朋代 (48) ＜令和7年4月＞ 博士（建設システム工学）
		ウェブデザイン演習

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	飯田 治 (67) ＜令和8年4月＞ 公共政策学修士（専門職）
		金融論
兼任	講師	上原 賢司 (44) ＜令和7年4月＞ 博士（政治学）
		政治学入門
兼任	講師	大塚 明彦 (66) ＜令和7年4月＞ 文士
		論理的思考と文章表現
兼任	講師	呉 明照 (52) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		韓国語入門Ⅰ 韓国語入門Ⅱ
兼任	講師	春日部 光紀 (53) ＜令和8年4月＞ 博士（経営学）
		管理会計
兼任	講師	堅田 諒 (33) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		映像と文化
兼任	講師	木田 世界 (32) ＜令和8年4月＞ 博士（経営学）
		コーポレートガバナンス論
兼任	講師	熊谷 由美子 (61) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	呉 秀娟 (45) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		中国語入門Ⅰ 中国語入門Ⅱ
兼任	講師	
兼任	講師	

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田辺 智也 (30) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		English Exam A（英検）
兼任	講師	烏宮 尚道 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		芸術と文化
兼任	講師	長田 美恵子 (50) ＜令和8年4月＞ 学士（商学）
		キャリアデザイン
兼任	講師	野口 剛 (49) ＜令和8年4月＞ 博士（経済学）
		財政学
兼任	講師	古林 英一 (66) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		環境学
兼任	講師	舩田 佳弘 (52) ＜令和8年4月＞ 博士（経済学）
		国際経済学
兼任	講師	柳田 英俊 (56) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		ITバスポート演習
兼任	講師	小林 重人 (45) ＜令和7年4月＞ 博士（知識科学）
		ビジネスデータサイエンス演習
兼任	講師	玉井 健一 (61) ＜令和7年4月＞ 経済学博士
		経営戦略論Ⅱ
兼任	講師	中村 暁子 (35) ＜令和7年4月＞ 修士（経営学）
		経営組織論Ⅱ

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田辺 智也 (30) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		English Exam A（英検）
兼任	講師	烏宮 尚道 (50) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		芸術と文化
兼任	講師	長田 美恵子 (48) ＜令和8年4月＞ 学士（商学）
		キャリアデザイン
兼任	講師	野口 剛 (47) ＜令和8年4月＞ 博士（経済学）
		財政学
兼任	講師	古林 英一 (65) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		環境学
兼任	講師	舩田 佳弘 (50) ＜令和8年4月＞ 博士（経済学）
		国際経済学
兼任	講師	柳田 英俊 (56) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		ITバスポート演習
兼任	講師	小林 重人 (44) ＜令和7年4月＞ 博士（知識科学）
		ビジネスデータサイエンス演習
兼任	講師	玉井 健一 (60) ＜令和7年4月＞ 経済学博士
		経営戦略論Ⅱ
兼任	講師	中村 暁子 (34) ＜令和7年4月＞ 修士（経営学）
		経営組織論Ⅱ
兼任	講師	福原 義一 (27) ＜令和8年4月＞ 修士（文学）
		哲学入門

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田辺 智也 (31) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		English Exam A（英検）
兼任	講師	烏宮 尚道 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		芸術と文化
兼任	講師	長田 美恵子 (49) ＜令和8年4月＞ 学士（商学）
		キャリアデザイン
兼任	講師	野口 剛 (48) ＜令和8年4月＞ 博士（経済学）
		財政学
兼任	講師	古林 英一 (66) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		環境学
兼任	講師	舩田 佳弘 (51) ＜令和8年4月＞ 博士（経済学）
		国際経済学
兼任	講師	宮野 ゆかり (57) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		ITバスポート演習
兼任	講師	小林 重人 (45) ＜令和7年4月＞ 博士（知識科学）
		ビジネスデータサイエンス演習
兼任	講師	玉井 健一 (61) ＜令和7年4月＞ 経済学博士
		経営戦略論Ⅱ
兼任	講師	中村 暁子 (35) ＜令和7年4月＞ 修士（経営学）
		経営組織論Ⅱ
兼任	講師	駒田 達希 (24) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		哲学入門
兼任	講師	岡崎 和久 (47) ＜令和7年4月＞ 修士（国際広報メディア）
		プレゼンテーション技法
兼任	講師	安田 光孝 (55) ＜令和7年4月＞ Master of Business Administration, Master of Science Information Technology
		ウェブデザイン演習

【認可時又は届出時】

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。

・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。

- 25

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・本務校（同一法人設置の短期大学）の担当科目増により、兼担教員の奴久妻俊介講師が就任辞退。同じ科目を担当する専任教員の板谷初子准教授が奴久妻が担当する予定であった分の授業を担当する。
- ・本務校（同一法人設置の短期大学）の担当科目増により、兼担教員の高橋秀幸教授が就任辞退。担当予定科目は、専任教員の伊藤祥子准教授が担当するものとし、資格学校からの講師派遣を取り入れながら、資格取得を意識した授業を展開する。
- ・館石和香葉助教が2023年9月に博士（人間科学）を取得。
- ・遠隔地の大学に赴任する理由により、兼任教員の鈴木健太講師が就任辞退。後任として兼任教員の稲荷森輝一講師が着任。
- ・兼任教員の上原賢司講師の就任年度を修正変更し1年繰り下げ。

【令和7年度】

- ・大平義隆兼任講師及び近藤公彦兼任講師は、設置計画に基づき令和7年度に専任教員（教授）として着任。
- ・「武蔵のキャリア教育」の担当を明田川知美講師から、伊藤祥子准教授、宮本知加子准教授、Galsan Jigmed Enkhzul助教に変更（令和7年2月教員審査済）。
- ・本務校（同一法人設置の短期大学）の担当科目増により、令和6年度に科目担当を外れていた奴久妻俊介兼任講師が当初の申請通り「総合英語Ⅰ」、「総合英語Ⅱ」の担当に復帰。
- ・「金融論」担当の飯田治兼任講師の学位を修正。
- ・講師の都合により「論理的思考と文章表現」の担当を榎戸賢司兼任講師から大塚明彦兼任講師に変更。
- ・講師の都合により「プレゼンテーション技法」の担当を鈴木卓真兼任講師から岡崎和久兼任講師に変更。
- ・講師の都合により「ウェブデザイン演習」の担当を高橋朋代兼任講師から安田光孝兼任講師に変更。
- ・本務（同一法人内の業務）の都合により「ITパスポート演習」の担当を柳田英俊兼任講師から宮野ゆかり孝兼任講師に変更。
- ・「哲学入門」担当の稲荷森輝一兼任講師が、遠隔地への赴任により出講できなくなったため、担当を駒田珠希兼任講師に変更。
- ・「ビジネス英語Ⅰ」「ビジネス英語Ⅱ」担当の網野真佐子兼任講師が、出講できなくなったため、担当を北間砂織兼任講師に変更。

(注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
18	9
名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

- ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
9	5	2	2	18	0	8	5	2	2	17	0
(6)	(5)	(2)	(2)	(15)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
9	5	2	2	18	0	9	5	2	2	18	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

- ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
63	7	8
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{7}{17} = \boxed{41.17} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合 計（D）							後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合 計 (F)						後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{18} = 0 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

- ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合 計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入し

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和5年)	設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	兼担・兼任教員の一部に変更が生じたが、専任教員によるカバー及び後任の兼任教員の手配により授業科目については設置計画どおりに履行されている。 FDは、全専任教員出席のもとで開催し、理念を共有しながら教育水準の向上に努めており、今後、毎月1回開催する予定である。(6) 専任教員も予定通り着任(令和7年4月に2名着任)し、授業科目は履修者がいなかった1科目(スポーツ)以外は、設置計画どおり開講している。 FDについては、開学初年度ということもあって、念入りに行った。FDは全専任教員の出席を前提としてほぼ毎月実施し、教員間に教育・指導上の濃淡が生じないよう努めた。(7)	FD等を通じて教員間で理念及び教育情報を共有しながら設置計画を着実に進める。 また、地域や企業との連携等により教育の水準向上及び研究推進を図る。(6)(7)
認 可 時 (令和5年)	教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	開学年度において、当初の計画どおり入学定員充足率102%を得た。今後も学生募集活動等において不断の努力を行いながらデータ分析にも力を注ぎ、入学者確保に努めると同時に定員規模の検討も行っていく。(6) 2年目となる令和7年度の入学者は73人(入学定員充足率91.2%)であった。アドミッション・ポリシーに基づき、基礎学力の確りした学生確保に努め、入学者選抜において、一定の学力水準に達しないものは不合格としている。(7)	高校生の志願動向について注意を払い、学生募集活動において得られる数値データを分析し、学生確保の見通しの判断に活用していく。(6)(7)
認 可 時 (令和5年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	「学校法人北海道武蔵女子学園 北海道武蔵女子大学開設時における採用教育職員の定年特例規程」を制定し、すでに施行している。 同規程の定めに基づき、大学開設時において、年齢が、本学園定年規程に定める教育職員の定年(63歳)を超える者を専任教員として採用した場合は、採用日の属する年度から5年を経過した年度の末日を雇用上限として定めている。(6)(7)	「学校法人北海道武蔵女子学園 北海道武蔵女子大学開設時における採用教育職員の定年特例規程」は、大学完成年度までに就任する専任教員にのみ適用する特例規程であることから、完成年度以降に採用する専任教員の定年は、学園定年規程の定めに従うものとなる。 今後、完成年度以降の教員配置について検討する。(6)(7)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①講義室16室	①学年進行に伴う稼働教室増に備え、環境未整備により講義室にカウントしていなかった部屋を整備し、講義室を1室増とした。
②地域デザイン経営研究センター（大学付属組織）	②大学付属組織としていた「地域デザイン経営研究センター」について、活動範囲・分野を広げるために大学及び短期大学の付属組織とし、組織図を一部変更した。

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>開学と同時に学内委員会の一つとして「北海道武蔵女子大学FD委員会」を発足し、4月からFDを開催した。また、SDに関しては、事務職員も対象となるため大学と短期大学両行の下に「北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子短期大学SD企画会議」を設置した。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>5月13日、6月17日、7月8日、9月10日、10月10日、11月12日、12月10日、2月5日、3月12日、4月14日の10回開催。7月8日に1名、3月12日に2名が欠席した以外は、委員全員4名（教員3名、職員1名）が出席して開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修会について（各研修会の内容等の検討） ・初年次ゼミナール合同開催について ・授業調査について ・授業アンケートについて ・リーダーシップ開発演習Iプレゼン（公開授業）について ・PROGテストの結果について ・FD研修会年間計画について ・新任教員への対応（これまでの研修内容の説明等） ・大人数講義室でのアクティブラーニングについて <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開学時の教育方針説明 ・授業方法についての研究会（情報共有） ・事例発表 ・グループディスカッション 等 <p>b 実施方法</p> <p>令和6年度は開学初年度ということもあって、特に教員間で情報共有を綿密に行い教育体制を整備することを目的にほぼ月に1回のペースでFD研修を行った。連絡事項を除くFD研修の内容は以下のとおりで、講師役教員の説明のほか、事例発表やグループディスカッションによる手法も用いながら行った。</p>

c 開催状況（教員の参加状況含む）

4月1日（・学部長から教育方針等の説明）

4月（・Teamasの授業活用方法）

5月（・初年次ゼミナール・合同ゼミナールの実施要項について、・デザイン基礎の学びについて）

7月（・AL（アクティブラーニング）の定義と本学の最小単位のALについて）事例発表

9月（・初年次ゼミナールⅡの運用について）

10月（・本学の産学連携について、今後の産学官連携について）事例発表

11月（・事前アンケート結果の共有）グループディスカッション

1月（・シラバスの書き方について）

2月（・インターンシップについて）

基本的に全員参加を前提として行っているため、毎回ほぼ全員が出席している（やむを得ず欠席する場合は、理由を述べて学部長の許可を得ることが必要）。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期各学期の14回目の授業時に実施（隔週開講の授業は日程の最終回に実施）

前期実施期間：令和6年7月9日（火）～7月22日（月）

後期実施期間：令和7年1月6日（月）～1月10日（金）

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員への通知：学内ポータルシステムを利用して行う

学生への通知：成績講評時に各授業においてフィードバックを行う

全体の集計結果はホームページで令和7年6月に公開予定

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開学2年目となる令和7年度の入学人数は73名であった（入学定員充足率91％）。合格者数の入学歩留まりの予測の問題もあるが、入学選抜の意義を考慮し、一定の学力に達しない学生は不合格とする方針を守った結果である。さらに有効な広報活動を展開し、学生募集につなげていく必要がある。小規模校の特色を活かし、学部の教員連携しながら一人一人の学生の学びを支援する体制が生まれ、退学や休学等はなく、昨年入学した学生は全員スムーズに進級を果たしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和8年6月1日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和8年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和12年に認証評価機関（一般財団法人大学・短期大学基準協会）の評価を受ける予定

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。